わがまち Sai 発（はっけん）

さいたま市防災センター 防災展示ホール に行ってきました！

あの東日本大震災から4か月が過ぎました。みなさんのお宅では、防災や避難場所の確認など、自分自身と家族を守るために見直しや話し合いをされましたか。あの未曾有の経験をとおして自分の中の何かが変わったと思った方も多いのではないでしょうか。そこでさらに学ぶために、今号ではさいたま市防災センターにある防災展示ホールに行ってきました。

大宮駅東口からバスで約7分、「自治医大医療センター入口」停留所で降りると、大宮消防署に併設された防災センターが見えました。その一階に防災展示ホールはあります。当日は消防局予防部予防課島村さんと、防火対策推進課今井さんに、防災センターを案内していただきました。

防災センターは平成2年に、市民に対して火災予防の知識を周知し、防災意識を高める目的で建てられました。近隣の小学校や幼稚園の団体見学や県外から見学に訪れる団体も含めると、年間に約1万5千人もの見学があるそうです。隣の消防署と合わせて見学すると、所要時間は約1時間から1時間半ほど。防災センターの南側には合併記念公園もあり、野外でのんびりくつろぐこともできます。

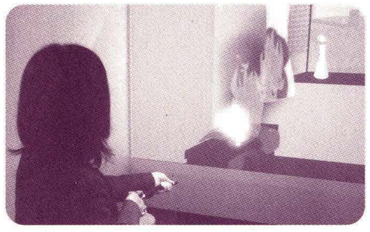
東日本大震災後には何が変化がありましたかと尋ねてみたところ、3月11日の震災後には臨時休館し、市消防局からは緊急消防援助隊として岩手県陸前高田市や福島県相馬市、福島市、本宮市などに職員を延べ300人以上派遣し、さまざまな支援を行ったとのこと。5月1日には再び開館しましたが、着実に利用や問い合わせが増えており、やはり防災についての関心はかなり高まっているそうです。

それでは、館内にある9つのコーナーを体験してきましたので、順を追って紹介します。

防災シアター

地震だけでなく火事や風水害など、幅広く災害に関するビデオを用意してあります。中にはアニメーションのビデオもあり、見たいビデオを選んで鑑賞することができるので、小さい子でも楽しめます。（今年度リニューアルする予定です。）

消火体験コーナー



消火器で映像に映っている火を消すコーナーです。やはり消火にはコツがあるので、そのコツをつかむためにも挑戦してみましょう。ちなみに、記者は上手に消すことができず、「消火に失敗しました！」となってしまいました。次回は消火できるようにしたいものです。

防災なんでもポケット

タッチパネル式の約15分のコンピュータ防災ゲームです。ゲーム感覚で問題を楽しく解きながら、防災の知識を確認しましょう。100点満点で何点取れるか、試してみてください。

119番通報体験コーナー

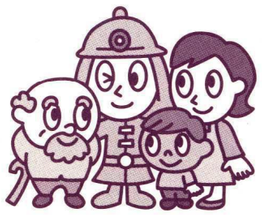
火事や事故が発生したとき、どのような手順で行動すべきか、モニターを見ながらわかりやすく学ぶことができます。

地震体験コーナー

震度2から震度7までの縦揺れや横揺れの地震を体験することができ、関東大震災や阪神・淡路大震災など、過去の大地震の揺れを再現することができます。今回震度7の揺れを体験しましたが、その揺れは立っていられず、何かにつかまっていてもひっくり返ってしまうような恐ろしさでした。あの3月11日に体験した地震も未経験の大きさでしたが、それを遥かに凌ぐ揺れを体験することができました。

右）煙体験コーナーにて。煙で何も見えず、ぼんやり見える誘導灯を頼りに出口に到着。誘導灯がなかったらどうなってしまうのかと不安に。

左）防火衣を着て記念撮影もできます。記者もポーズをキメて撮ってもらいました。



煙体験コーナー

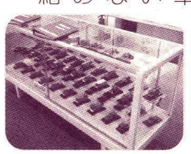
この部屋でパニックになる方もいるということで、煙の中で、**誘導灯**にそって進んでいくのはかなり大変でした。煙が充満している中、ドアを開けて進むのですが、煙でドアがほとんど見えません。狭くて暗く、さらに煙が充満しているため、出口に向かう間はとても息苦しく、出られたときはホッとしました。実際の煙だと、一呼吸するだけで倒れてしまうこともあると聞きました。必ず、濡らしたハンカチやタオル（濡らすことができなければ乾いたままでも）、何もなくても肘で口をおおって煙を吸わないようにすることが大事だということです。

防火衣着装体験コーナー

本物の防火衣とヘルメットを着ることができます。サイズは幼児、小学生、大人用があり、着てみると、意外と重くて暑いものでした。来館記念に写真を撮ることもできます。

防災パネル

地震のしくみ、自主防災組織などが展示してあり、防火対策について学べます。世界の消防車ミニカーも展示しています。倒れて下敷きになりやすいブロック塀の安全対策についても紹介されています。



展示室

着衣着火を防ぐための**防炎品**や様々な消火器など、家庭に備えるべきグッズが並んでいます。

見学後に印象に残ったことは、備えておけば少しは自分自身と大切な家族を守ることができるかなということです。今後、危機意識を持って、とっさの時に行動が起こせるようになりたいと切実に思いました。

「備えあれば憂いなし」ということで、災害に対する正しい知識を得ることも重要なポイント。そこで、図書館に所蔵している防災に関する資料から、最近に出版されたものを一部紹介します。

『防災・救急に役立つ日用品活用法＆ロープワーク』（新版　羽田道信著　風媒社　2011.4）

『地震防災学　検索情報に基づいた地震防災の基礎知識』（大塚久哲編著　九州大学出版会　2011.3）

『みんなで知っ得「助かる」「助ける」　視覚障害者のための防災対策マニュアル』（日本盲人社会福祉施設協議会情報サービス部会　2010.9）

『防災コミュニティ　現場から考える安全・安心な地域づくり』（中村八郎ほか著　自治体研究　2010.4）

『目からウロコの防災新常識　あなたと家族の命を守る』（山村武彦著　ぎょうせい　2010.2）

『災害がほんとうに襲った時　阪神淡路大震災50日間の記録』（中井久夫著　みすず書房　2011.4）

『災害時絶対に知っておくべき「お金」と「保険」の知識　被災しても、被災していなくても、知っておきたい基礎知識』（生活設計塾クルー編著　ダイヤモンド社　2011.4）

『生き延びるための非常食〈最強〉ガイド』（エクスナレッジ編集部編　エクスナレッジ　2011.4）

『地震から子どもを守る50の方法』（増補版　国崎信江著　ブロンズ新社　2011.4）

『今から始める地震対策　家族・社員を守る50の知恵』（改訂版　平山隆一編著　並木書房　2011.4）

さいたま市防災センター 防災展示ホール

〒330-0834さいたま市大宮区天沼町1-893　TEL048(648)6511

開館時間	午前9時～午後4時30分
休館日	毎週月曜日、国民の祝日（日曜日に当たる日を除く）、年末年始（12月29日～1月3日） ＊都合により変更になることもあります。
入館料	無料
駐車場	あり